

# Access Report

2018年 3月 13日号  
アクセス教育情報センター

## 目次

学校情報	入試情報	教育情報	その他	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・桐蔭学園</li> <li>・東海大相模</li> <li>・合同相談会2</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校別入試結果 抜粋</li> <li>男子校</li> <li>女子校</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・過去問出題増加</li> <li>・国立大入試</li> <li>・運動部部活</li> <li>・英語民間試験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・名言・迷言・冥言</li> <li>・英語4技能化</li> <li>・中学入試出題ミス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会案内</li> </ul>

## 学校情報

### 桐蔭学園 中等教育学校学校説明会

2019年4月男女共学化(予定)

日時 3月24日(土) 14:30～

申込 webサイトにて

<http://toin.ac.jp/>

**当日のプログラム(予定)**

- ★岡田直哉校長よりご挨拶「新しい進学校のカタチ」
- ★溝上慎一教育顧問から「これからの教育と新中等教育学校」
- ★中等教育学校プロジェクトチームによるプレゼンテーション
  - ・新中等教育学校の目指すもの ～学校方針、教育目標について
  - ・新中等教育学校の学び ～キャリア教育・授業・そして大学進学へ
  - ・新中等教育学校のスクールライフ ～学校生活・学校行事・部活動
- ★在校生によるプレゼンテーション(男女)
- ★卒業生へのインタビュー(男女)
- ★入学試験について

**桐蔭学園は頑張る受験生を応援します**

---

**校長からのメッセージ**

夢は、決してはじめからあるわけではありません。学ぶことで得られる「ああ、そうだったのか!」という感動を積み重ねていくことで、やがてそれが夢へと成長するものなのです。そして夢は、語ることで一歩ずつ近づいていけるものだと思っています。一歩を踏める情熱を。皆さんがこの桐蔭学園で「なぜ学ぶのか」について考え、皆さんなりの答えが見つければ幸いです。

桐蔭学園中等教育学校 校長 岡田直哉

### 合同相談会2

キリスト教学校合同フェア

日時 3月21日(祝) 10:00～15:00

場所 青山学院高等部校舎(JR「渋谷駅」徒歩12分、地下鉄「表参道駅」徒歩10分)

内容 各校5分間スピーチ、個別相談

## 申込 不要

### 参加校（中学募集実施校）

＝男子校＝ 函館ラ・サール、暁星、聖学院、立教池袋

＝女子校＝ 札幌聖心女子、恵泉女学園、光塩女子学院、晃華学園、香蘭女学校、頌栄女子学院、女子聖学院、白百合学園、聖ドミニコ学園、玉川聖学院、東洋英和女学院、普連土学園、目黒星美学園、立教女学院、カリタス女子、函嶺白百合、聖セシリア女子、捜真女学校、聖ヨゼフ学園、フェリス女学院、横浜女学院、横浜雙葉、浦和明の星女子、山梨英和、不二聖心女子学院

＝共学校＝ 青山学院、青山学院横浜英和、浦和ルーテル学院、桜美林、啓明学園、東星学園、明治学院

＝男女校＝ 自由学園

## 夢限大

日時 4月22日(日) 10:00～16:00

場所 立正大学品川キャンパス（JR大崎駅 徒歩5分）

内容 個別相談

### 参加校

＝男子校＝ 京華、佼成学園、芝、聖学院、成城、世田谷学園、高輪、東京都市大付、獨協、本郷

＝女子校＝ 小野学園、京華女子、麴町学園、女子聖学院、玉川聖学院、東京女子学園、トキワ松学園、富士見、普連土学園

＝共学校＝ かえつ有明、順天、鶴見大附属、東京成徳大中、桐光学園、文教大付属、細田学園、目黒日本大学、八雲学園、立正大学付属立正

## 女子校アンサンブル

日時 4月29日(祝) 10:00～16:00

場所 学習院女子大学2・3号館（地下鉄副都心線 西早稲田駅徒歩3分）

内容 個別相談 ミニ説明会、パネルディスカッション、他

参加校 跡見学園、学習院女子、恵泉女学園、香蘭女学校、実践女学園、東京女学館、豊島岡女子、三輪田学園、山脇学園

## 春一番合同相談会

日時 4月29日(祝) 10:00～14:30

場所 パレスホテル立川3F

内容 学校相談ブース、何でも相談コーナー

参加校 穎明館、大妻多摩、桜美林、共立第二、啓明学園、工学院大附、駒沢学園女子、実践学園、聖徳学園、白梅学園清修、帝京八王子、東海大菅生、東京純心女子、東京電機大、日本大学第三、八王子学園、富士見、藤村女子、文化学園大杉並、宝仙学園理数インター、武蔵野女子学院、明治学院、明星中、明法中、八雲学園



アクセス教育情報センターでも承ります。

定員 40名

会費 1名 3,000円(私学関係者だけでなく、中学受験を考えている保護者の方の参加も可能です)

内容 ・『私学だからできること』 安達征勝

・『自分を深める学習の実践報告』 野中修也 (東京成徳大学高等学校)

・『中3道德の授業を振り返って』 白井利剛 (明治大学付属中野八王子中学高等学校)

・『私学に求められるもの』 浅見均 (アクセス教育情報センター 所長)

・『研修会を振り返って』(質疑応答)

ご挨拶

エルタネット代表 安達征勝

私学は理念の実践が大事だと考えます。

理念の実践とは、「自分とは何か・なぜ学ぶのか・どう生きたらいいのか」のことです。

近代日本の教育は150年経ちました。人間観を「生きる」世界から「生かされて生きている」世界の開発・創造が求められていると思います。ともに、研鑽・深めをしませんか。必ず成果が望めます。

アクセス教育情報センター 浅見均

一昨年、昨年と学校説明会では多くの学校で、アクティブラーニング、ICT教育、グローバル化への取り組みが、その学校の教育内容を劇的に進化させるかのように説明されていました。また、2020年の大学入試改革に対応するために入試問題やカリキュラムを変えることを声高に説明している学校もありました。しかし、そうした学校の多くの取り組みが、世間の流れに乗ろうとする安易な取り組みにしか思えないのはなぜなのでしょう。これまで、多くの私学が私学志望減少の中で生徒を集めるために行ってきた、入試回数の増加や午後入試の増加、特待生入試の設定などの入試の在り方の変更や、大学入試結果を伸ばすための取り組みと同じような小手先の対応にしか感じられません。本来私学が世間にその存在を問うべき内容とかけ離れたものになっているように思えてなりません。私学は生徒を集めるのではなく、生徒が集まる場であってほしいと思います。

そのためには建学の精神に立ち、私学として、教員として子どもたちに何を伝えるか、子どもたちとどう向き合っていくのかを真剣に議論し、地に足の着いた誠実な実践をしていくことではないでしょうか。気づき教育実践ネットワークの取り組みは、各私学の取り組みをあらためて見直すきっかけになるのではないかと思います。